全国肉牛事業組合枝肉共励会

福永畜産(さつま)最高賞

鹿児島県勢が連覇

第7回全国肉牛事業協同組合枝肉共励会が東京であり、福永畜産（さつま町）出品の枝肉が最高賞のグランドチャンピオンに輝いた。鹿児島県勢の最高賞受賞は、前回ののざき（薩摩川内市）に続き、2年連続3回目。

全国から101頭が出品され、9日にあった。グランドチャンピオンのほか、優秀賞（3頭）、優良賞（5頭）に県内生産者出品の計4頭が入った。また今回から新設され、1日当たりの粗利益が高い枝肉を表彰する経済肥育賞には、髙﨑畜産（薩摩川内市）が選ばれた。

グランドチャンピオンになった牛は2011年3月生まれで、父は安平幸、母方の祖父は安福久。枝肉重量は611㌔。最上級のA5等級に格付けされ、脂肪交雑（サシ）の入り具合を示すBMSは最高値の12だった。

グランドチャンピオン、経済肥育賞以外の入賞者は次の通り。（県関係分）

【優秀賞】のざき（薩摩川内市）、森ファーム組合（鹿屋市）

【優良賞】髙﨑畜産（薩摩川内市）、のざき（同）

霧島に物流センター

アステムが立地協定

立地協定を結んだアステムの吉村次生副社長（左から2人目）ら　＝21日、霧島市役所

医薬品、医療用機器などの卸売業アステム（大分市、吉村恭彰社長）は21日、霧島市と物流センターの立地協定を結んだ。11月中に着工し、1年後に操業開始予定。従業員3人を新規雇用するほか、倉庫業務を委託する関連会社でも約50人の新規雇用を予定する。同市隼人町見次の支店もセンター内に移転する。

名称は「アステム南九州LISセンター（仮称）」。佐賀県鳥栖市の物流センターの取扱量が近年増加し、九州南部のサービスを向上させるため、交通アクセスに優れた霧島市への進出を決めた。

建設地は霧島市隼人町真孝で、鹿児島高専の隣。用地1万1585平方㍍、建築面積7142平方㍍の3階建て。投資予定額約25億円。鹿児島、宮崎両県と熊本南部の12支店1営業所へ供給する。13カ所の鳥栖の出荷実績は年額約550億円。

調印式後、吉村次生副社長は「8年前の福岡県西方沖地震で鳥栖の一部が被災し、リスク分散の狙いもある。進出を機に地域経済を盛り上げたい」と話した。アステムは1879（明治12）年創業。3月現在の従業員は1476人、年商3240億円。（清水裕貴）

中小・小規模企業支援求め総決起

鹿児島県商工4団体

鹿児島県中小・小規模企業活力強化総決起大会が21日、鹿児島市であった。県内の商工関係者約2千人が参加し、国や地方行政に対して、中小・小規模企業を支援する法整備や基盤強化を求めた。

県商工会連合会、県商工会議所連合会、県中小企業団体中央会、県商店街振興組合連合会の主催で、4団体が合同で総決起大会を開くのは11年ぶり。

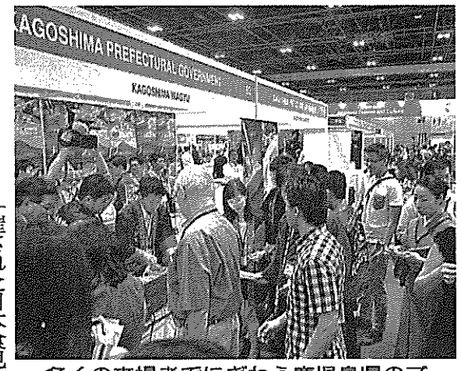
大会では①小規模企業基本法の早期制定②

気勢を上げる鹿児島県中小・小規模企業活力強化総決起大会の参加者ら　＝21日、鹿児島市の市民文化ホール

シンガポールで鹿県産食品PR

県貿易協

鹿児島県貿易協会は、シンガポールで開催された日本食見本市「Oishii JAPAN 2013」に参加し、和牛や黒豚など鹿児島の産品をPRした。



多くの来場者でにぎわう鹿児島県のブース　＝18日、シンガポール（県提供）

出展は昨年に続き2回目。県によると、見本市は17日から3日間あり、県食肉輸出促進協議会、県特産品協会など14の企業団体から約30人が参加した。七つのブースで畜産品以外にも、養殖ブリ、お茶、焼酎などの展示や試食があった。

現地や周辺国のバイヤーとの商談もあり、カネヨ販売の木下裕司さんは「タイやマレーシアからも多くの人が訪れていた。鹿児島の甘みのある味付けはこちらでも反応がいい」と語った。

送電網利用料認可制に

16年めど　新規参入促す狙い

経産省方針

経済産業省は21日、新規参入した電力小売り会社が、既存の送電網を利用する際に電力会社に支払っている料金について、現行の「届け出制」から、国が適正かどうかを厳格に審査する「認可制」に変更する方針を決めた。電力小売りを全面自由化する2016年をめどに実行する。

国の関与を強めることで料金設定の透明性を確保し、電力小売りの新規参入を活発にする狙いがある。

この日開いた電力システム改革の制度設計を検討する作業部会で大筋合意した。14年の通常国会への提出を予定する電気事業法改正案に盛り込む。

新制度は、利用料を値上げする際は国の認可制とする。一方、値下げの場合はより素早く実施できるよう届け出制のままとする。

この日の作業部会では、大手電力会社に対し顧客の利用情報を、新規参入の電力小売り会社に開示することを義務付ける方針も示された。大手と新規参入会社が公平に競争できる環境を整え、値下げやサービスの多様化につなげるのが狙い。

全面自由化が実現すると、顧客は電力会社を自由に選べるようになる。新規参入会社が競争力のある料金やサービスを設定するためには、大手の条件を細かく把握する必要がある。

しかし実際には、大手の抵抗などから新規参入会社が情報を入手するのは困難が予想され、全面自由化が形骸化する恐れが指摘されている。経産省は、新規参入会社が顧客の承諾を得た上で、既存の契約内容の情報を検索できるシステムを開発する方針だ。

ウナギ放流し追跡調査

宮崎、研究所開設

宮崎県のウナギ養殖業者らでつくるNPO法人は21日、絶滅が危ぶまれるニホンウナギの保全を目的に、生態を研究する施設「国際うなぎLABO」を同県美郷町に開設した。雌のウナギを自然に近い環境で育成、放流後も観察を続ける研究は例がないという。

研究は、人工池で雌のウナギを飼育して成長過程を観察し、タグを付けて海に出た後も回遊経路を追跡する。飼育や実験は来春スタートする。

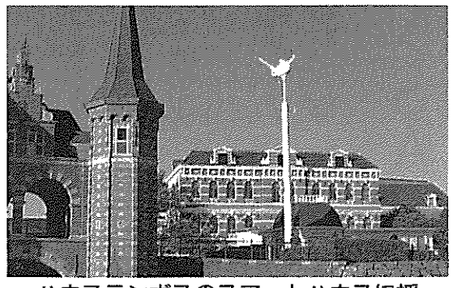
開所式典で講演した所長の塚本勝巳・日本大教授（海洋生命科学）は、「大切な食資源であり、文化。持続的な利用や保全のため、国際シンポジウムなども開きたい」と意気込みを述べた。

施設は廃校となった小学校を活用。東大が所蔵する世界各地のウナギや稚魚の標本を一般公開するスペースも併設した。

県によると、宮崎県の養殖ウナギの生産量は全国3位。稚魚の漁獲量が激減し、2011年には1㌔当たりの取引価格が例年の3倍にあたる174万円になり、養殖業者は打撃を受けている。

ビルメン鹿児島製採用

HTBスマートハウス風力発電機


ハウステンボスのスマートハウスに採用されたビルメン鹿児島の小型風力発電機（ビルメン鹿児島提供）

ハウステンボス（長崎県佐世保市）が実験的に建設したエネルギー効率の高い住宅「スマートハウス」に、ビルメン鹿児島（鹿児島市）の小型風力発電機が採用されている。定格出力5㌔㍗で、発電量などのデータ集積が進められている。

同社によると、一般的な小型風力発電機は秒速3～4㍍で発電を始めるのに対し、同社製品は秒速1・5㍍から発電可能で、ばらつきの少ない出力を実現した。同社が設計開発し、八幡金属国分工場（霧島市）が製造組立、ブレード部分はKILLI FISH（姶良市）が製作した。

ハウステンボスは、スマートハウスでの実験結果を活用し、施設内に2階建て200室のスマートホテルを2014年12月に開業する予定。ビルメン鹿児島は「実験結果によってはわが社の小型風力発電機が採用される見込み」としている。（山下智弘）

サロ

天文館
目指し
○…「和
子の垣根を
文館の定
を作りた
るかんな
菓子処と
は鹿児島
をリニュ
ーズケー
本格的な
統的経済
業の支援
求めた決
加者全員
う」を三
締めくく
台風27
防風策
鹿児島
風27号の
け、農作
後対策を
風対策の
けている
県農政
特に注意
は、野菜
など。い
や防風ネ
補強する
草丈の低
して側面
定する。
いずれ
害が予想
は、台風
かに散水
い流す。
対策は
ジ=http
ef.kago
で公開し
マン
25日
鹿児
管理士
長）は
でマン
セミナ
く。
セミ
設計監
の平山
ション
化診断
で講義
保険商
智規さ
ション
す。セ